

## 「婦人たちは見た」

マルコ章 15 節33～41 節

人生には、昼なのに心が夜のように暗く感じる時があります。十字架の場面でも、真昼に世界は暗くなり、イエスは「なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれました。神が遠く感じる時があるのは、人の弱さではありません。イエスもその孤独を通られました。

そのとき遠くから十字架を見ていた婦人たちがいました。彼女たちは何か大きなことをしたわけではありません。ただ見ていただけです。しかし聖書はそれを大切に記します。何もできない時でも、そこにいることには意味があります。人が神を見つめるとき、神もまた人を見ておられます。

暗いトンネルのような時間の先にも光があります。十字架の三日後、復活の朝が来ます。そして最初にそれを知るのは、この婦人たちでした。神は静かに寄り添う人を用い、私たちをも見守っておられるのです。ゆっくり歩めばよいのです。神は決して見捨てません。

次週の3月22日（日）の礼拝は決別説教となります。聖書箇所は使徒言行録20章25～28節、説教題は「さよならを言わない別れ-チャーリー・ブラウンは福音を伝えはじめる」です。

日本キリスト教団 浦河教会

# 週報

No. 50 2026年3月15日



〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

伝道師 大槻茂勝

2026年3月15日 (No.50)

復活前第3・受難節第4主日礼拝

司会 荻野 仁 ・ 奏楽 松村 宣恵

ぜん そう 一 どう  
前 奏 同

さんびか 一 どう  
讃美歌 8 5 (2回) 同

いの しゃ  
祈 り 司会者

せい しょ しゃ  
聖 書 マルコ 15章 33~41節 司会者

(新約聖書 96 頁)

さんびか 一 どう  
讃美歌 3 0 3 同

せつ きょう ぼく し  
説 教 「婦人たちは見た」 牧 師

さんびか 一 どう  
讃美歌 9 1 同

けんきん かんしゃ いの 一 どう  
献金 と感謝 の祈り 同

しゅ いの 一 どう  
主の祈り 6 2 同

しょう えい 一 どう  
頌 栄 キリストの平和が (1, 5) 同

しゅく とう ぼく し  
祝 祷 牧 師

ほう こく  
報 告

あたら こ かつ ひさ かつ しょうかい  
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

こんしゅう しゅうかい  
【今週の集会】

いっしょ せいしよ よ いの かい  
◇一緒に聖書を読み祈る会

3月18日 (水) 19時より

〈コヘレトの言葉 9章 4~6 節〉旧約 1044 頁

じしゅう よてい  
【次週の予定】

◇主日礼拝・(決別説教)

3月22日 (日) 14時

聖書 使徒言行録 20章 25~28 節

説教「さよならを言わない別れ-チャーリー・ブ  
ラウンは福音を伝えはじめる」

讃美歌 4 8 4 ・ 9 1

いっしょ せいしよ よ いの かい  
◇一緒に聖書を読み祈る会

3月25日 (水) 19時より

〈コヘレトの言葉 9章 7~10 節〉旧約 1045 頁

らいしゅう れいはいしやしかいしや き  
【来週の礼拝 司 会者を決めましょう】

①山本充枝 ②内村直人 ③半田かおる

④伊藤知之 ⑤山根耕平 ⑥岸澤恵美

⑦高崎 晋 ⑧早坂 潔 ⑨荻野 仁 ⑩和田智子

⑪吉田公子 ⑫大矢英明 ⑬岸上 浩

しゅうかいとうけい  
【集会統計】

集会名	出席者	献金
主日礼拝 (3月8日)	20名	3,096円

祈祷会 (3月11日) 讃美歌	2名	412・434
--------------------	----	---------

・ 頌 栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが  
わたしたちのこころのすみ  
ずみにまで 行きわたりま  
すように

5. キリストのゆるしが  
わたしたちのこころのすみ  
ずみにまで 行きわたり  
ますよう